

日本中国当代文学研究会会報論文・資料総目録(1~9号)

(数字は巻号一頁数)

創刊にあたって	釜屋 修	1-01
当代農村文学読書札記――阿Qの影を念頭に	青谷政明	1-02
孔捷生と天安門事件	杉山菜子	1-08
柳青とリンゴー柳青再評価をめぐって	加藤三由紀	1-13
崩れ行く風景の向う側――高曉声「水東流」 ・ 邓剛「陣痛」	釜屋 修	2-01
李准『その道を歩んではならない』の評価を めぐって	加藤三由紀	2-10
《当代作家の周辺》張潔と駱賓基	小塩恵美子	2-15
張一弓「犠牲」と李小尋(当代農村文学読書 札記の二)	青谷政明	2-18
陸文夫『小巷人物志』――「小販世家」を中 心に	小塩恵美子	3-01
〈社会主義リアリズム〉論争ノートⅠ	下出鉄男	3-06
台湾文壇	葉 寄民	3-10
《文壇花架》宗璞と可愛い弟――文学と家 族・断想	釜屋 修	3-16
〔資料〕張賢亮著作目録(付・関係文献)	青谷政明	3-19
石評梅の恋	中本百合枝	4-01
話劇《狗兒爺涅槃》を観て――北京から	小塩恵美子	4-06
シナリオ《狗兒爺涅槃》を読んで――東京から	江上幸子	4-11
年末年始北京大学見聞記(1986-1987)	Teng Shan (滕 嫻)	4-15
《文壇花架》張賢亮の本のことなど	青谷政明	4-20
台湾文壇――詩壇・現代詩論争	葉 寄民	4-21
劉再復『人物の性格の二重組合せ原理を論ず』 『文学の主体性を論ず』の読後レポート	江上幸子	5-01
〈社会主義リアリズム〉論争ノートⅡ――陳 企霞と第二次文代会	下出鉄男	5-08

茹志鵬会見記	小塩恵美子	5-14
『犬だんなの涅槃』をめぐって	瀬戸 宏	5-23
【文壇花絮】張依吾=伊吾? — 駱賓基と魯迅、交信の謎	平石淑子	5-28
当代文学備忘録①馮驥才	釜屋 修	5-34
馮驥才著作ノート(初稿)	青谷政明	5-37
【連載】3 台湾文壇—郷土文学論争	葉 寄民	5-44
中国文芸家REQUIEM 87	釜屋 修	5-45
混沌を描く—莫言の小説とゴーギャンの絵画におけるいくつかの類似点による莫言論の試み	平石淑子	6-01
「“痛苦”と“醜”」	佐藤民人	6-14
残雪『蒼老的浮雲』(エッセイ)	藤重典子	6-19
1985年後中国文学的一个側影	宗 誠	6-30
創造新英雄人物論小結	陳企霞 江上幸子訳	6-34
中国当代文学代表団を迎えて	釜屋 修	6-48
合宿のテーマをめぐって—感想二、三	下出宣子	6-52
中国文芸家 REQUIEM 88-89	釜屋 修	6-56
馬原小説札記	阪本ちづみ	7-01
池莉の作品世界について	赤柴展子	7-16
社会主義リアリズム論争ノートⅢ—〈典型〉について	下出鉄男	7-18
胡風についてⅠ—88年以後の胡風再評価	伊禮智香子	7-25
残雪会見記	藤重典子	7-38
許子東氏講演「“新時期”文学の歴史的意味」に寄せて	加藤三由紀	7-41
中国文芸家REQUIEM 90-91.5	釜屋 修	7-46
「新写実小説論」考	加藤三由紀	8-01
史鉄生試論	久米井敦子	8-15

『紅高粱家族』読後	土屋肇枝	8-31
社会主義リアリズム論争ノートⅣ——〈国防文学〉と社会主義リアリズム	下出鉄男	8-45
書評・『紅衛兵の時代』（張承志）	藤重典子	8-59
紹介・環境文学雑誌『緑葉』について	杉野元子	8-65
中国文芸家REQUIEM 91.5-92.10	釜屋 修	8-71
程乃珊の『青い館』を読む	福地桂子	9-01
「空中小姐」ノート——王朔へのひとつのアプローチ	西野由希子	9-13
放蕩的嚴肅、嬉笑的悲哀——關於《廢都》的評價問題	黄 修己	9-27
馮至の「素朴」について	佐藤普美子	9-33
【書評】『ワイルド・スワン』上・下	鷺巣益美	9-37
【書評】『夫殺し』——多様な読みの可能性	藤重典子	9-39
方方主要著作目録	土屋肇枝	9-43
中国文芸家REQUIEM 92.11-93.12	釜屋 修	9-47

光明日報 95-7-19 (21世纪文学之星丛书)
《21世纪文学之星丛书》95年卷书目敲定

1995年6月29日下午，在北京国防大学同心楼宾馆，经过22位编委的无记名投票，决出《21世纪文学之星丛书》1995年卷出版书目。它们是：徐贵祥的《弹道无痕》（解放军）、黄薇的《血缘》（内蒙古）、周忠陵的《白猫与飘落的太阳花或其它》（四川）、王连升的《战争故事》（浙江）、熊正良的《红锈》（江西）、郭彦的《清风冷看》（暂名）（四川）、刘春来的《两代风流》（暂名）（湖南）、沈苇的《在瞬间逗留》（新疆）、辛茹的《含泪敲你的门》（解放军）、赵翼如的《倾斜的风景》（江苏）、彭学明的《我的湘西》（湖南）、胡平的《文学感染力形成基础》（中直），上列依次为小说7部、诗歌2部、散文2部、评论1部，总计12部。

是中国作家协会中华文学基金会为繁荣中华文学创作、发现和扶植文学新人而创办的一项文学事业，它所面对的是青年文学创作者，致力于培养优秀青年文学家，以年卷的形式为在文学创作方面取得显著成绩的青年作者出版第一本书。这套丛书的总策划是北京同力制冷设备公司总经理白亚南先生和中国作协常务书记、中华文学基金会副会长兼总干事张镡先生。这套丛书从1994年开始出第一卷，首卷涵盖了16位青年作者的15本书，出版以后，曾在文学界和读书界引起很大反响，被誉为“一项着眼于未来、为青年作者铺路搭桥以利前行的具有跨世纪意义的文学‘希望工程’”。本卷仍由天津百花文艺出版社出版，预计年底前全部出齐。（守仁）

文坛扫描